

平成11年4月15日

---

## 米国コーテック社より経口エラスターゼ阻害剤の全世界の開発・販売権を取得することで合意

---

小野薬品は、米国の医薬品ベンチャー企業、コーテック社（Cortech, Inc./コロラド州デンバー）との間で、これまで共同研究を進めてきた経口エラスターゼ阻害剤について、小野薬品が全世界の開発・販売権を取得することで基本的な合意に達し、仮契約を4月12日に締結した。

両社は1995年3月より経口エラスターゼ阻害剤の共同研究開発を実施しており、既に有望な化合物が見出されている。小野薬品は、当初の契約で既に、成果化合物を日本を含む極東地域で独占的に開発・販売する権利を有していたが、今回の合意により、同社の権利は欧米を含む全世界に拡大することになる。

エラスターゼは、好中球由来の蛋白分解酵素で、種々の炎症性疾患における組織破壊や臓器不全の原因と考えられている。特に経口投与で有効なエラスターゼ阻害剤を開発することによって、炎症性の慢性疾患の新しい治療薬になることが期待されている。小野薬品では、慢性閉塞性肺疾患（COPD）や慢性関節リウマチを対象に臨床試験を進めることを計画している。

コーテック社は、1982年に設立され、蛋白分解酵素阻害剤を含む炎症性疾患治療剤に特化した研究を行ってきた。